

3. 保育所(園)・幼稚園における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

保育所(園)や幼稚園では、子どもの年齢やその日の子どもの状況に応じて、日常的に絵本の読み聞かせなどに取り組んでいます。また、保護者に対して、絵本の紹介や乳幼児期の子どもの読書に関する情報の提供を行っているところもあります。さらに地域の乳幼児とその保護者への本の貸出しや読み聞かせなどに取り組むところも徐々に増えています。これらの取り組みを充実し、広げていきます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	絵本等の貸出し	保育所(園) 幼稚園	拡充	子どもと保護者に本の貸出しを行う。
				地域での交流	保育所(園) 幼稚園 おはなしボランティアグループ	拡充	中学生・高校生や地域の人が来園して子どもに絵本の読み聞かせを行う機会をつくり、子どもが地域の人とふれあい、絵本に親しむ場とする。
				「おはなし指導者派遣事業」	豊中おはなしの会 市立図書館	継続	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 〔第2章4学校 5障害のある子どもや外国人の子ども 6市立図書館にも掲載しています。〕
				図書館訪問	保育所(園) 幼稚園 市立図書館	拡充	地域の図書館を訪問して、子どもが絵本やおはなしに親しむ機会を作る。
				保育所(園)・幼稚園訪問	○市立図書館 保育所(園) 幼稚園	継続	図書館職員が出向いて、おはなし会や図書館の使い方の説明を行い、絵本やおはなしの楽しさを伝える。 〔第2章6 市立図書館にも掲載しています。〕
				絵本講座の開催	保育所(園) 幼稚園	拡充	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。
				絵本の紹介・貸出し	保育所(園) 幼稚園	拡充	保護者が参加する催しなどを利用して、子どもと保護者に絵本の紹介や貸出しを行う。
				たより等による絵本の紹介	保育所(園) 幼稚園	拡充	保護者に対して絵本だよりや貸出ノートを通して、絵本の楽しさを親子や保育士、幼稚園教員と共有したり、子どもと本との出会いの大切さや絵本の楽しさを伝えたりする。
				「家庭教育出前講座」	中央公民館	拡充	私立幼稚園を対象に行っている家庭教育出前講座において、子どもの読書の楽しさ・大切さについての講座や絵本の紹介、読み聞かせ等を行う。
				地域の子どもと保護者への取り組み(おはなし会)	保育所(園) 幼稚園	拡充	地域の乳幼児と保護者が本に親しみ、楽しさを感じることができるよう幼稚園の体験入園や保育所の地域交流等の機会を利用して、おはなし会を行う。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	地域の子どもと保護者への取り組み(絵本の貸出し)	保育所(園) 幼稚園	拡充	地域の子育て支援センター的な役割をになう場として、地域の乳幼児と保護者に絵本の貸出しを行う。

子どもの本や読書に関する情報提供

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

読書環境の整備

保育所(園)や幼稚園の蔵書や絵本コーナーなどの設備面については、その規模や、入所・入園している子どもの数などにより様々です。子どもが日常的に本と親しむことができる環境を整えるために、絵本コーナーの設置や資料の充実など、環境の整備に取り組みます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	図書資料の充実	保育所(園) 幼稚園 市立図書館	拡充	新規購入や図書館の団体貸出の利用により、絵本など図書資料を充実する。
				絵本コーナーの充実	保育所(園) 幼稚園	拡充	絵本の部屋や絵本コーナーを充実して、親しみやすく興味が持てるような読書環境をつくる。
				絵本の大切さを伝える取り組み	保育所(園) 幼稚園	継続	絵本の整理や片付け、修理などを子どもと保育士、幼稚園教員が一緒に行い、絵本を大切に扱うことを伝える。
				「私立幼稚園における親の子育て力向上推進事業」	幼児教育課	拡充	保護者が幼稚園の教育活動の場に参加することにより、子育てへの認識と理解を深め、親の子育て力の向上を図ることを目的としている。絵本の貸出し・読み聞かせ活動については年57回実施予定。

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

保育所(園)や幼稚園では、保護者やボランティアによるおはなし会を行っているところもあります。また、青少年による読み聞かせボランティアの活動の場を提供しているところもあります。このような子どもの読書に関わるボランティアの活動を継続的に支援します。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	保護者のサークル活動への支援	幼稚園	拡充	保護者による読み聞かせやストーリーテリング等を行うサークル活動を支援する。
				青少年ボランティアへの支援	保育所(園) 幼稚園	拡充	乳幼児への読み聞かせを行うボランティア活動の場を提供する。 [第2章1(2)地域 4学校 6市立図書館をご参照ください。]

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

保育所(園)や幼稚園では、市立図書館の団体貸出サービスの利用やおはなし会への参加、出前絵本講座を活用しています。今後さらに図書館やボランティアなどと連携することによって、子どもが本と出会う機会を広げる取り組みを進めます。

◆全体的な取り組み(4ページ)をご参照ください。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	図書館との連携	保育所(園) 幼稚園 市立図書館	拡充	保育所(園)・幼稚園と市立図書館が連携し、子どもが本と出会う機会を広げる。

子どもに関わる大人への啓発と研修

保育所(園)や幼稚園の子どもが本に親しみを覚え、楽しさを感じられるように、子どもと本をつなぐ取り組みの充実が必要です。そのために保育士や幼稚園教員が、子どもの読書の意義や大切さについて理解と関心を深める研修を行っています。さらにこれらの情報を共有し、研修の機会を広げていきます。

対象				事業	関係部局・団体	区分	取り組みの内容
乳幼児	小中学生	15才以上	大人	教職員研修	保育所(園) 幼稚園	拡充	保育士や幼稚園教員が子どもの読書の意義や大切さについて、理解と関心を深めるために研修を行う。
				情報の共有	保育所(園) 幼稚園	継続	保育士や幼稚園教員が絵本を紹介しあう等、子どもの読書に関する情報を共有する。
				情報交流と研修	保育所(園) 幼稚園 市立図書館	拡充	図書館や保育所(園)、幼稚園で行う研修の情報を共有し、研修の機会を広げる。 [第2章5 障害のある子どもや外国人の子ども 6市立図書館をご参照ください。]
				絵本検討会	市立保育所	拡充	絵本検討会で人権の視点からリストを作成し、絵本の選書を行う。
				豊中市幼稚園教育研究会	幼児教育課	継続	市立幼稚園教員の研究会の中で、絵本についての研究・実践交流を行う。

保育所の子どもたち

保育所では0～5歳の子どもたちが生活しています。

乳児クラスが、最初に出会うのは布製のさわる絵本です。マジックテープで、ちょうちょうを付けたりはずしたり、何度も楽しんでいきます。1歳を過ぎると好きな絵本を棚から選び「よんで」と膝の上に、ちょこんと座ります。動物や乗り物、食べ物の絵本が大好きで、保育士の発音を真似して「にんじん」「うさぎ」と名前を言ったり、指差しをしたりして色々な名前を覚えています。食べ物の絵本の時は、手でつかむ真似をしてモグモグおいしそうに食べる真似をしています。

お友だちと時々膝の取り合いになりますが、仲良く二人で膝の上に座り絵本を読んでもらい、一冊読み終わると次の子が持っていた本を「つぎ これ」と読んでもらいます。その本が終わるとまた次の本と、保育士の膝があくことは、なかなかありません。

又お気に入りの一冊というもあり、「もういつかい」と何度も読んでもらう姿もあります。『まり』という絵本がお気に入りの2歳の子は、まりの変化ひとつひとつに反応し、まるで自分がまりになったように「コロソ、ポトン、カキーン」と読み手と一緒に擬音を言って楽しみ「まり どこいったかな？」と想像力を膨らませ、ページをめくるのを心待ちにしています。字が読めるようになった幼児クラスでも、一対一の読み聞かせはして欲しいものです。

人の肌のぬくもりを感じながら読んでもらうのは、心地よい触れ合いの場となっているようです。午睡前には、毎日紙芝居やおはなしを読んでいます。「きょうは、どんなおはなしかな」と楽しみにして「♪かーみしばいが はじまるよ」の歌の後、ジーとくいいるように紙芝居を見て静かに眠りにつきます。保育所の中で絵本は、どの年齢にも様々な場面にかかわり、欠かせないものになっています。

幼稚園の子どもたち

毎日、担任の読み聞かせを心待ちにしている子どもたち。今日は『はじめてのおつかい』です。主人公のみいちゃんが転んでしまった絵に思わず「あつ」。登場人物の気持ちになりきって心配したり、喜んだり、怒ったり、一緒に様々な経験をしている表情のなんと真剣で豊かなことでしょう。そして最後「よかったねー」と友達と顔を見合わせ頷き合うその顔は、結末の安堵感とともに友達と共感できた喜びでいっぱいです。

教師の選んだ本だけでなく、園児自身が読んで楽しかった本や何度も読んで欲しい本を友達にも紹介したくて「みんなにこの本を読んで」とリクエスト本棚に大好きな本が並んでいくこともあります。

卒園児、在園児の保護者による読み聞かせのひとつも子どもたちの心が幸せに満ちる時です。絵本の他に、指人形や組木、ペープサート等を使ってのおはなしの世界をとっても楽しみにしています。

「今日は父親が読んでくれました。めったにないことなので子どもはととても嬉しそうにしていました。ちょっぴり悔しいけど、私(母親)が読むより上手でよく聞いていました」

いろいろな人のぬくもりをいっぱい感じながら読書タイムを楽しみにしている子どもたちです。

